

もっと知りたい! クルマのこと

CAR LIFE

〈発行所〉アフターマーケットサプライヤー活性化委員会



AACかわら版

カーライフ

考えるつながる広がる
Field for Our Future

BroadLeaf

[巻頭特集]

愛車とアツい夏を乗り切る術

梅雨から夏へ。

[愛車とアツい夏を乗り切る術]

- #1 エアコンフィルターのチェックを!
- #2 夏のドライブ前には欠かせないタイヤチェック!
- #3 夏場のバッテリー上がりにはご用心!
- #4 機能性に優れたカーフィルムで快適かつオトクに!

[カーオーナーズ・アイ]

果たして12ヶ月点検は 本当に必要なのか?

[今さら聞けない]

ロードサービスの頼み方と活用方法

[クルマの豆知識]

夏の蟻酸対策のススメ

Vol. **02**
2021 JULY

TAKE FREE!

Summer has come!



梅雨から夏へ。

Summer has come!

愛車とアツい夏を乗り切る術

今年も暑い夏がやってくる。人が服装や習慣を変えるように、クルマも夏仕様へのアップデートが必要だ。

エアコン、タイヤ、バッテリー、カーフィルム…。

普段何気なく使っているパーツも一度自分の目でチェックすることが大事だ。

自分で確認することが難しい場合は、整備工場に相談してみよう。

きっとあなたのクルマの“主治医”が適切なアドバイスや処置をしてくれるはずだ。

大切な愛車に長く乗り続けるためにも、まずはしっかり夏仕様へとアップデートし、アツい夏を乗り切ろう。

愛車とアツい夏を乗り切る術 #1

エアコンが臭い…効きが悪い… まずはエアコンフィルターのチェックを！

猛暑が続く夏にクルマに乗り込むと、車内温度は40度を超えることも。車内を冷やそうと、カーエアコンのスイッチを入れたら、吹き込んできたのは少し鼻につくイヤな臭い…。暑さに加え、不快指数が上がるこの原因は一体何なのか？

実はエアコンの臭いの原因となっているのは主に「カビ」と言われている。そして、そのカビの温床として知っておきたい代表的な箇所が「エアコンフィルター」と「エバポレータ」だ。臭いが気になった時、まずは手軽に処置できる対処法としてエアコンフィルターを交換したい。空気の取り込み口で不純物をろ過する役割を担っているため、いわば“クルマのマスク”的な役割を果たしている箇所だ。日常的に埃やチリ、花粉などが溜まりやすいため、定期的な交換（目安は1年または15,000キロ）がオススメ。ショップに

も依頼できるが、DIYでも比較的安く簡単に交換可能だ。カー用品量販店やインターネット通販で手軽に購入できるので、愛車に合うフィルターを自身で探してみるのもアリだろう。

その一方で、難敵なのがエバポレータだ。エバポレータは、カーエアコンの心臓部で、車内に送る空気を冷やす役割がある。このため、冷却時に水滴の付着が避けられず、カビやすくホコリなども溜まるので、年月が経つにつれ悪臭の温床となることが多い。加えて厄介なのが「設置場所」だ。車種によってエバポレータの位置が異なり、フィルターのように取り外しが簡単ではない。カーエアコンの効きやニオイの改善に大きな効果を得るためには、分解して洗浄するという手段もあるが、作業費が高額になり、時間も掛かるというネックがあるので慎重に検討したい。

フィルターでもエバポレータでも、カビが臭いの原因の場合、いくら消臭・芳香剤を置いても、効果は限定的。さらに臭いに加えて、効きも悪い場合は、エアコンガスの漏れ・不足など、他の原因を考える必要もある。

こうしたクルマの症状にきっちり対処してくれるのが信頼できるプロショップや整備工場だ。対処療法ではなく不快の原因を根本から取り除く上でも、一度エアコンの点検をしっかりとお願いしてみたい。



愛車とアツい夏を乗り切る術 #2

夏のドライブ前には欠かせない タイヤチェック！



JAFの2020年度ロードサービス救援データによると、お盆シーズン（8月8日～16日）の救援件数は四輪・二輪合わせて62,074件。年末年始が43,414件、GWが40,439件という数値を見ても、最も多い出勤数となっている。一般道路の出勤理由のTOP3は、過放電バッテリーが29%、タイヤのパンク、バースト、エア圧不足が18%、破損／劣化バッテリーが7%と続くが、注目したいのが高速道路における出勤理由1位が、タイヤのパンク、バースト、エア圧不足で40%にも及ぶという点だ（右表参照）。

お盆を利用して遠方の実家への帰省や、

家族での旅行など、普段に比べ長距離の運転をするドライバーも増えることから、普段のメンテナンスを怠っていると、思わぬトラブル

に遭遇する可能性も高くなる。特にタイヤについては大きな事故にも繋がりやすいため、普段からのチェックを習慣にしておきたい。

JAFロードサービス 主な出勤理由TOP10（四輪）

＜一般道路＞			
順位	故障内容	件数	構成比
1	過放電バッテリー	17,157	29.94%
2	パンク、バースト、空気圧不足	10,348	18.06%
3	破損／劣化バッテリー	4,050	7.07%
4	落輪・落込	3,684	6.43%
5	キー閉じ込み	3,327	5.81%
6	発電機／充電回路	1,842	3.21%
7	事故	1,764	3.08%
8	燃料切れ	1,372	2.39%
9	スタータモータ	773	1.35%
10	ハンドルロック・キー作動機構	741	1.29%
以上計		45,058	78.62%
その他合計		12,253	21.38%
総合計		57,311	100.00%

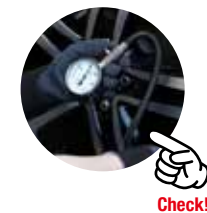
＜高速道路＞			
順位	故障内容	件数	構成比
1	パンク、バースト、空気圧不足	889	40.19%
2	燃料切れ	198	8.95%
3	事故	91	4.11%
4	過放電バッテリー	80	3.62%
5	発電機／充電回路	73	3.30%
6	オートマチックミッション	36	1.63%
7	破損／劣化バッテリー	33	1.49%
8	ベルト駆動機構・プーリーのステー類	27	1.22%
9	冷却水不足	26	1.18%
10	キー閉じ込み	24	1.08%
以上計		1,477	66.77%
その他合計		735	33.23%
総合計		2,212	100.00%

出典：JAF「ロードサービス救援データ（2020年度：シーズン別）」

日頃から心掛けたいタイヤの“セルフチェック”のポイント！

☑ タイヤの空気圧は適正か？

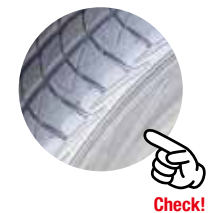
走行前に適正空気圧かどうかの点検を。適正空気圧は車種によって異なるが、運転席側のドア付近または給油口に空気圧表示シールが貼られているので確認してみよう。



Check!

☑ タイヤにキズが無い？

パンクやバーストなど重大な事故にもつながるトラブルを未然に防ぐために、よく確認を。万が一キズがタイヤ内部のコードに達している場合、タイヤが破裂し、事故につながる恐れも。



Check!

☑ タイヤの溝は残っているか？

走行前にタイヤの残り溝のチェックを。タイヤには、残り溝が1.6ミリになる目安として三角マークのスリップサインが設けられている。スリップサインが1ヶ所でも出ると使用してはいけないことが法律で定められている。



Check!

☑ タイヤにひび割れが無い？

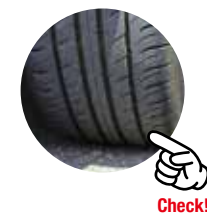
ひび割れがタイヤ内部のコードと呼ばれる部分に達しない限り、安全上の問題は無く、継続使用は可能。ひび割れがタイヤ内部のコードに達している場合は、交換が必要。



Check!

☑ タイヤに偏った減りが無い？

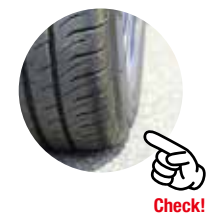
タイヤの接地面に極端にすり減っている箇所がないか確認を。タイヤの偏った減りは、空気圧が適正でなかったり、タイヤの位置交換をせずに使用していた場合に起こりやすいため、定期的（5,000km走行に1回が目安）な位置交換を。



Check!

☑ タイヤサイド部が膨らんでない？

タイヤサイドの一部が局部的に膨らんでいる場合は、タイヤ内部のコードが切れている可能性がある。危険なため、すぐにタイヤ販売店や整備工場等に相談を。逆にへこんでいる場合は、構造上発生するもので、安全上の問題はない。



Check!

夏場のバッテリー上がりにはご用心！



バッテリー上がりは、

3ページ記

載のJAFの出動理由の中でも上位に入っているメジャーなトラブル。そもそも、バッテリー上がりとは、バッテリーの力が弱くなり、電気が不足してエンジンが掛からなくなることを指す。これから使おうとしている電気の量が、バッテリーに蓄えられている電気の量を上回っている状態だ。

一般にバッテリーは温度変化に弱く、温度が下がると性能は低下する。つまり、自動車のバッテリーにとって、冬は非常に厳しい季節と言える。しかし、現在は冬よりも夏がバッテリーには厳しい季節になっている。温度が高く、バッテリー性能も十分に

発揮されているはずなのになぜ？と思う方もいるのではないだろうか。

夏場にかけてバッテリー上がりが増える1つの理由に、エアコンの多用が挙げられる。エアコンは車の部品の中で最も電力を消費する部分。加えて、モーターを回すのに最大級の電力が必要で、この2つの電力消費で電気が足りなくなり、突然エンジンが掛からなくなるという仕組みだ。こうなると、充電するか交換するしか方法がない。また1度上がってしまったバッテリーは、時間経過にもよるものの、充電して満充電になっても完全に元には戻らないと思ったほうが良い。ライトが暗かったり、アイドリングが不安定になるなど、明らかに変化が見

える場合は交換した方が良さだろう。

一般的に、バッテリーの寿命は3～4年程度と言われているが、実際には普段のクルマの使用状況が大きく影響する。充電が不足したり、過剰に電気を使うことが多かったりするような使い方は、バッテリーに対する負担が大きく、寿命を縮めることになる。例えば、たまにしか乗らなかったり、1度に乗る時間が少ないといった使い方や、日に何度もエンジンを掛けたり、渋滞時の走行が多かったりするケースなどが挙げられる。夏休みのロングドライブで大渋滞にはまり、エアコンを全開にしている状態は、バッテリーにとっては最も過酷な状況なのだ。夏場のバッテリー上がりはこのあたりにも原因がある。

クルマの進化とともにバッテリーも高性能になっている反面、急速な劣化もあるため、車検や点検時には何も問題がなかったのに、翌日の運転で全くエンジンが掛からなくなってしまったというケースも。夏の旅行やロングドライブの途中でエンジンが掛からなくなるという悲劇を防ぐためにも、普段から、自分でバッテリーの状態を把握したり、信頼できるクルマ屋さんや整備工場などで定期的にバッテリーの状態を測定してもらい、必要に応じてクルマの特性にあったバッテリーに交換してもらうというのが一番安心なのではないだろうか。

機能性に優れたカーフィルムで快適かつオトクに！



カーエアコン

が当たり前の存在となり、「車内が暑過ぎて困る」といったことは少ない今日。実はそのカーエアコンは、一般的なルームエアコンと比較すると、空間の大きさに対して高い冷暖房能力を求められている。建物に比べ、外部からの熱負荷、特に大きな面積を占める窓ガラスからの熱負荷が大きいからだ。そこで活用したいのが、ガラスに貼り付ける「カーフィルム」だ。かつては、目隠し用途としての着色されたスモークフィルムが主流だったが、近年では紫外線（UV）・赤外線（IR）カットといった機能性に優れた製品も多く登場。日焼けなど健康被害の元となるUVや肌にジリジリと熱を伝えるIRを抑制することで、より快適なドライブを楽しめるほか、エアコン電力を抑えることで燃費向上も期待できる。実際、エアコン電力が航続距離に大きく影響するEVの普及を見据え、フィルムメーカーではより高い遮熱性能の追求や透明性との両立などの研究開発も進んでいる。

フロントガラスにも貼れる？

優れた機能を持つカーフィルムであれば、車内全てのガラスに施工したいもの。ただ、ドライバーの中には「前の席はフィルムを貼れない」と聞いたり認識している人もいるか

もしれない。

現在国内では、ドライバーの視野を確保するため、道路運送車両法により「フロントガラス・運転席・助手席のフロント3面には、特定のものの以外のもので装着・貼り付け・塗装・刻印されてはならない」と規定されている。その禁止項目から除外されているアイテムには、車検ステッカーやバックミラー、最近では自動ブレーキのカメラやドライブレコーダーなどがあり、その中に「ガラスに貼り付けた状態で可視光線透過率が70%以上を確保できる透明なもの」も含まれる。カーフィルムはこれに該当し、貼り付けた状態で可視光線透過率70%以上であればフロント3面にも貼ることができるのだ。ちなみに運転席より後ろのガラスについては、スモークの濃いフィルムや透過しないステッカーなども貼ることが可能だ。

プロへの相談のススメ

合法で機能的にメリットあるカーフィルムだが、特にフロント3面へも貼る場合は、ドライバー側にも注意が必要なのが現状だ。前述の法規定が業界従事者でも正確



に認識されておらず、それを一因に車検での不合格や整備・点検の入庫拒否に繋がりがうることがあるほか、フィルム施工者の技量不足により目に付くゴミが混入したり、施工時に水漏れで電装品を破損してしまうケースも。また、近年では、メーカーが自動ブレーキの動作保証の観点から、一部車種の取扱説明書にフィルム貼付の禁止を明記していたり、UV・IRカット機能が付加された純正ガラス搭載車の場合、カーフィルム施工後の性能差が小さく「思った程遮熱を体感できない」といったことも起こりうる。

一方で、年々日本でも平均気温が上昇する中、省エネの面でも活用したいカーフィルム。施工する際は、製品に関する情報はもとより、こうした法規制や車両の知識・施工技術をしっかり有したプロに相談してみるのがオススメだ。

事実 信号待ちのたびに、バッテリー容量は減っていく。

アイドリングストップ車のための **大容量**

パナソニック アイドリングストップ車用バッテリー

ボッシュを選ぶ、わけがある。

BOSCH Invented for life

第1位 2020年 電装系バッテリー部門

第1位 2020年 電装系バッテリー部門

第1位 2020年 電装系バッテリー部門

CAR DIGITAL CATALOG

デジカタ

車の販売をサポートするデジタルカタログ

ATT

株式会社 エーティティ

<https://att-lab.com>

KTC 9.5sq. コードレスラチェットレンチ

エアホース不要で **ストレスフリー！**

同クラス最小、最軽量

全長 **253mm** 質量 **750g**

No.JTRE310

KTC 京都機械工具株式会社

お客様窓口 support@kyototool.co.jp

kct.jp 製品紹介動画

KTC JTRE310

Car Owners Eye [カーオーナーズ・アイ]

果たして12ヶ月点検は本当に必要なのか？



2年に1回 車検は受けるが、12ヶ月点検は受けないという方が多いのではないだろうか？ 実は車検も点検も法律で定められた法定点検と言われ、車のユーザーがその点検を実施する義務を負っている。

では、なぜユーザーは12ヶ月点検を受けないのだろうか。それは罰則があるかないかの違いである。もし車検を受けていない車で公道を走行した場合は、道路運送車両法違反により6ヶ月以上の懲役または30万円以下の罰金に処せられると同時に、自賠責保険が切れている場合は、自動車損害賠償保障法違反にもなり、1年以下の懲役または50万円以下の罰金に処されることになる。さらに車検切れ、自賠責保険切れのそれぞれ違反点数が6点なので、合計12点の違反点数が加算され、確実に免停になってしまう。一方の12ヶ月点検も車検同様、道路運送車両法で定められた義務だが、罰則に問われることはない。

では、本当に12ヶ月点検は受けなくて良いのだろうか。創刊号でもお伝えしたが、昨今では自動ブレーキやキープブレーン、パーキングアシストなどの自動制御装置が搭載されているクルマが多く、同時に多くのカメラやレー

ダー、センサーなども装着されている。それらに異常があると自動ブレーキが効かない、駐車する場合に逆にハンドルが切られるなど、大きな事故になる可能性が高い。これらの装置は、今年の10月1日より12ヶ月毎の定期点検項目に追加される。いわゆる、車検と12ヶ月点検の点検項目が増えるということである。12ヶ月点検はユーザーの義務であり、12ヶ月点検を受けておらず上記の装置等の異常により事故を起こした場合、メーカーの保証が受けられないことも大いに考えられる。

12ヶ月点検の料金は、受ける場所によって違いが相場としては10,000円～15,000円。10月より点検項目が増えるので、料金が少し上がる可能性はあるが、この金額で自動制御装置の点検と安全が確認できるのであれば、決して高い費用ではない。一度、車検を受けている工場に12ヶ月点検の相談をしてみてもいいだろうか？



“自動制御装置”を搭載したクルマほど点検が不可欠に

今さら聞けない



ロードサービスの頼み方と活用方法

クルマに乗っていると遭遇する予期せぬトラブル。「自分は大丈夫！」と思っても、いざそのような状況になった時、冷静に対処できる人は案外少ないのではないだろうか。そんな時に安心なのが、ドライバーの困りごとをサポートしてくれるロードサービス。さまざまな種類があるロードサービスの違いを理解し、いざという時にうまく活用しよう。

クルマが動かない！
事故を起こしてしまった！

ロードサービスには大きく分けて、自動車保険に付帯される「損保系ロードサービス」とJAFなどを始めとする「民間のロードサービス」の2つの種類があり、サービスが受けられる対象、出動する作業員、サービス内容と料金などに違いがある。

まず対象についてだが、損保系ロードサービスは「車」、JAFは「人」が対象になる。このため、損保系ロードサービスは契約車両に乗っていないとサービスが受けられないが、JAFは他人の車に同乗していても対象となる。

出動する作業員についても、損保系ロードサービスの場合は、損保会社の社員がお客様のところまで出動することはない。これは損保会社が、ロードアシスタンス会社（ロードサービスの手配を行う事業者）へ電話対応から作業出動依頼までの業務を委託しているためだ。ロードアシスタンス会社は、それぞれに指定工場（実際にお客様のところまで出動でき、ロードサービス経験が豊富な整備工場など）と契約しており、現場急行の依頼をすることになる。一方、JAFの場合は、出動するの

はJAFの社員と地域で契約している指定工場になる。

サービス内容と料金設定についても注意が必要だ。損保系ロードサービスの場合、保険の付帯している補償内容とサービス内容の範疇であれば、基本的に現場でお客様から料金を徴収することはほぼない。また、ロードサービスを利用しても保険等級には影響がでないで、保険料が高くなることもない。これはロードサービスが「保険の特約」なので、車を使用できなくなった損害を補償してくれるという趣旨があるためだ。遠方でのトラブルに関しても長距離搬送または、公共機関を利用した移動費、宿泊費を補償の対応としている保険会社がほとんどだ。その反面“損害”という観点が少ない、自宅でのガス欠などは対象にならないことや、利用回数に制限があるケースもあるので注意したい。

JAFの場合は、基本的に現場での作業が30分以内、また搬送した場合でも15キロ以内は会員なら無料。JAFの非会員でもロードサービスの依頼は可能だが、有料となり、現場での精算が必要となる。

まずは、ロードサービスが必要なトラブルに遭った時に備えて、自分が契約中または契約を検討している保険会社に、ロードサービスの内容について今一度確認をしてみてもいいだろうか。

ロードサービスで押さえておきたいポイント！

- ▶ガス欠、車両のパンク、キー閉じこみ、レッカー移動、トラブル時の宿泊費・交通費などをカバーしてくれる！
- ▶ロードサービスだけを利用した場合は、次回更新時の保険等級に影響はない！

保険会社の主なロードサービスの内容

トラブルへの対応	パンク、ガス欠、脱輪、バッテリーあがり、キーとし込み、オイル・冷却水漏れなど ※サービスの利用条件は各社により異なる
レッカー移動サービス	事故や故障時に自走不可能となった車を現場から修理工場までの移動 ※移動距離、条件は各社により異なる
宿泊費、移動交通費サポート	遠方での事故などで現地での宿泊費、列車などの交通費、レンタカー費用などを負担 ※サービスの無い会社もあり。宿泊の可否や人数分の交通費といった条件は各社により異なる

約15%の消費電力で冷却

スロートクーラーと比べ

熱中対策と節電対策に！

夏

の

エコ冷風機

スタンダードタイプ 35EXN

オートスイング機能

風量3段階

マイナスイオン発生装置付き

25EX(プライベートタイプ) 70EXN(大容量タイプ)もあります。

●タンク容量: (約) 40L

●風量: (約) 4000m³/h

●消費電力: 190W

●冷房範囲: (約) 25㎡

●サイズ: (約) W495×D585×H1290mm

●質量: (約) 20kg

自動車機械工具の専門商社

株式会社 サンコー

本社 東京都港区新橋5-16-12 京阪神東横ビル9F

http://kksanko.com

損保ジャパン

SOMPO Innovation for Wellbeing

保険の先へ、挑む。

東京海上日動ってどんな会社ですか？

変化する世の中のリスクと向き合い、いち早く新しい保険やサービスで人や社会が前進することを助ける、損害保険の会社です。

東京海上日動

To Be a Good Company

SDGsで、未来をつなぐ

三井住友海上は、安心と安全の提供を通じて、持続可能な社会の実現に取り組みます

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは

2016年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）のことで、SDGsはすべての国の共通の課題と見なされています。このアジェンダとSDGsに基づいて、国連が持続可能な開発目標を掲げ、世界が取り組むべき課題を明らかにしています。

持続可能な地球環境

安心して暮らせる社会

活力のある経済活動

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上は、レジリエントでサステナブルな社会をめざします。 ※外部環境にシナジーを対応する、持続可能な社会

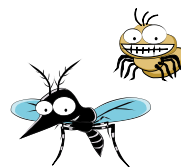
クルマの

豆

知識

放置してはいけないフロントまわりのムシの死骸

夏の蟻酸対策のススメ



梅雨が明けると本格的な夏がやってくる。コロナ禍ではあるが、感染対策をしっかりと行った上で、夏休みのおでかけやドライブは楽しみたいところ。しかし、楽しいドライブ後にバンパーやヘッドライトを見ると「虫」がびっしり…という経験をした方は多いのではないだろうか。クルマに付いた「虫」の処理は「早さ」が大事。なぜなら…

生物 が光の刺激に反応して移動することを「走光性」と言うが、この走光性を持つ虫は、明るいクルマのヘッドライト付近に近づくため、特に春から夏にかけて夜の走行時に付着することが多い。そして、付着した虫の死骸には蟻酸(ぎざん)と呼ばれる酸性物質が含まれており、そのまま放置すると、ボディの塗装面を侵食し、深刻なダメージとなってしまう。

付着した虫の死骸を掃除するのは気が重く、ついつい後回しになってしまうものだが、時間が経つと、固く塗装面に付いてしまい、落とすのにも一苦労となるので時間を置かずに処理することが一番なのだが、その際に大切なのは丁寧さよりも「早さ」だ。

ドライブ後すぐに水洗いし、シャンプーなどで汚れを落とせば、それほど苦労なく虫は取れることが多いが、太陽の下でカリカリに乾ききった死骸はなかなか厄介だ。力ずくで取ろうとするとボディに傷が付く恐れがあるので、タオルやスポンジに水分を



含ませたものを当て、固くなった虫をふやかしてから取るなどの対策が望ましい。

これまで述べたように、理想は水を使っでの洗車だが、すぐに洗車が難しい場合は、濡らしたマイクロファイバーなどで拭き取ってしまうのも1つの手だ。まずはホコリや汚れを落とすために一拭きし、その後に虫を擦り落とす。カー用品店などで市販されている虫落とし用クリーナーを使うのも有効だ。何より大切なのは「早く処理すること」。当日中の処理が望ましく、1週間ほど放置してしまうと、塗装へのダメージは相当に深刻だと捉えた方がよい。

虫と同様に、鳥のフンや樹液などもボディへ悪影響を及ぼす。大切な愛車に長く乗り続けるために、楽しいおでかけの後は、愛車のお手入れも「手早く」行おう。



アフターマーケットサプライヤー活性化委員会(AAC)とは？

AACは、全国の有力な部品商が集まり、より高度な補修部品や関連商材の販売・提供のノウハウを勉強し、従来あまり得意としてこなかった補修部品以外の商品・サービスの研究をし、その情報をお客様にご提供するために、勉強と交流の場をベースに「さらなる高みを目指して」活動している組織です。100年に1度の大変革期にある自動車業界において、今できること、すべきことを従来の価値観に縛られずに、しっかりと推進し、業界活性化を図り、ひいては地域社会の発展に寄与すべく、活動を行っています。

「CAR LIFE」に関する
ご意見・ご感想・ご要望などをお寄せください



編集部では、今後ともコンテンツの充実に向けて参ります。皆様からの多様なご意見・ご要望を募集しております。下記メールアドレスまで、お寄せ下さい。

CAR LIFE編集部 ▶mail:info@aa-c.jp